

# 議会だより

第170号  
令和元年  
11月発行

題字：屋我 悠喜  
屋良小学校6年



## 令和元年9月定例会～主な内容～

令和元年度 9月定例会・・・・ P2~P3

令和元年度 一般会計9月補正予算・・・・ P4

平成30年度 政務活動費収支報告・・・・ P6

町政を問う！14名の議員が一般質問・・・・ P7

題字紹介・サークル紹介・・・・ P22

## 屋良小学校運動会

[嘉手納町議会ホームページ](#)

[嘉手納町議会](#)

検索

町議会を傍聴しましょう！定例会は、3・6・9・12月に開かれます。



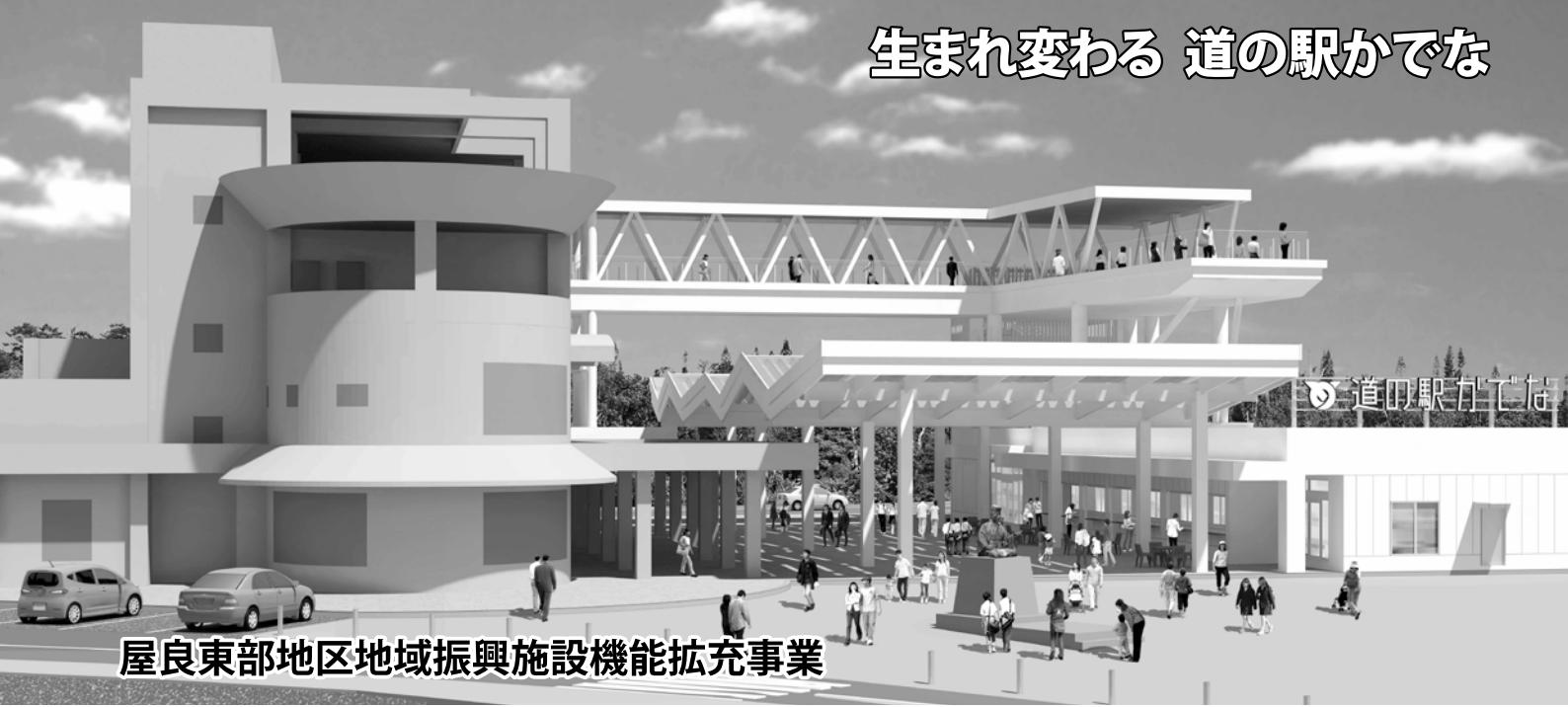
# 効率的に使われたか!

## 9月定例会

令和元年第31回(9月)定例会を9月4日から25日までの会期で開いた。

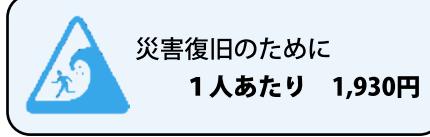
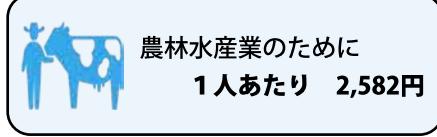
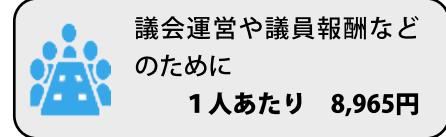
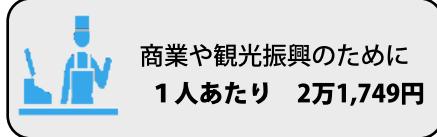
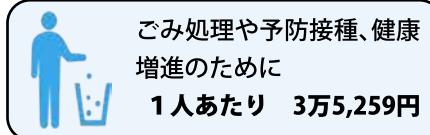
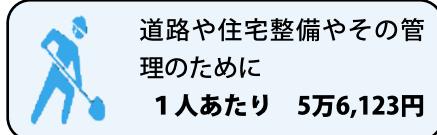
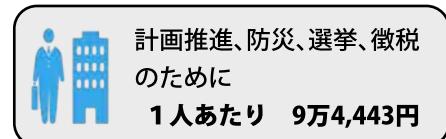
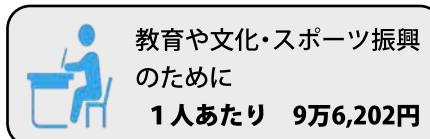
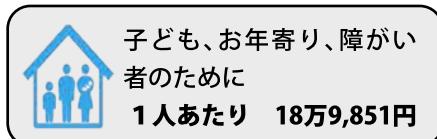
本定例会では、平成30年度決算認定(一般会計、水道事業会計、3特別会計)及び、令和元年度補正予算3件を含む議案22件、報告2件、意見書4件、陳情2件、諮問1件を可決した。

生まれ変わる 道の駅かでな



屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業

平成30年度 町の支出(使ったお金) 町民1人あたり年間約61万円使われました



\*上記以外にも使われた費用があるため、1人あたりに使われた金額と、目的別使用額の総計とは異なります。

平成30年度  
決算

# 町のお金は適正。

平成30年度 決算額(1万円未満切り捨て)

会計名	平成30年度		差引差額
	収入済額	支出済額	
一般会計	91億9,431万円	82億7,835万円	9億1,596万円
特別会計	国民健康保険	20億4,822万円	6,646万円
	下水道事業	4億2,757万円	3,427万円
	後期高齢者医療	2億5,468万円	158万円
水道事業	3億4,323万円	3億3,206万円	1,117万円

## Q & A 予算の使途を鋭く切り込む！

### 総務財政常任委員会

歳児のワクチン接種（80人分）  
問 一般寄附金1億円余の内容は。

### 建設経済常任委員会

就職支援窓口の実績は。  
問 地域活性化イベント補助金の内

答 米軍車両86台分、約21万円の收

答 1億275万円。（6994件分）  
問 12名の就職が決定。

問 軽自動車税のうち、米軍車両分

答 一般寄附金のうち、ふるさと納税は、1億275万円。（6994件分）  
問 うたの日コンサート来場者数は。

答 エイサー祭りへ100万円、ビアフェスタ38万円、泡盛まつり50万円を補助。

入。問 交通安全対策交付金について、

問 嘉手納町地域福祉交通導入調査委託料は。

昨年度より減の理由は。

答 平成30年度は、先進地の中城、宮古を視察した。令和元年度の実証実験を経て、アンケートを取り対象者の意見を集約して今後の方針を決定する。

問 教育費負担金の内容と内訳は。

答 学校における児童生徒の災害共済保険料保護者負担分。（年度中の事故件数は73件）

問 公共駐車場使用料収入の内容は。

答 東駆駐車場及び中央駐車場（合計545台駐車可）と、定期券・プリペイドカード等を販売する券売機の収入。

問 文化センター使用料の内容は。

答 町内85件、町外57件、計117件分の使用料。

問 塵芥処理手数料の内容は。

答 ゴミ袋の販売収入。取手付きゴミ袋は12月より販売。

問 ワクチン接種勧奨事業補助金の内容は。

答 乳児への麻疹含有ワクチン接種内容は。

答 勧奨事業補助金、定期接種前の0

問 194万円を支出。

答 中学校空手部のマット64枚購入。

問 中学校費学校管理費、備品購入の内容は。

答 平成30年度は、平成29年度分120件、120万円を支出。

問 中学校費学校管理費、備品購入の内容は。

答 平成30年度は、平成29年度分120件、120万円を支出。

問 公園施設等照明LED化推進工事実施設計委託料は。

答 13施設・500基以上。

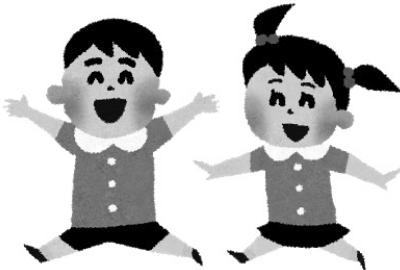
問 水築第2町當住宅建設工事基本設計の内容は。

答 10階建、90戸、駐車場付きで整備を計画。

# 令和元年度一般会計9月補正予算 1億6,851万円増額可決

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億6,851万円	97億1,522万円
国民健康保険	494万円	19億1,985万円
後期高齢者医療	158万円	2億6,111万円

## 可決された主な内容



特定教育・保育施設等主食費補助金

※私立幼稚園、認定こども園3歳以上児を対象に主食費の補助を行う。



ウォータースライダー修繕(兼久海浜公園ウォーターガーデン)

## \*9月定例会 主な議案

議案番号	件名	結果
議案第27号	嘉手納町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第28号	嘉手納中学校校舎防音機器復旧工事請負契約について	原案可決 契約額 1億6,687万円
議案第30号	兼久海浜公園ソフトボール場照明取替工事請負契約について	原案可決 契約額 8,195万円
議案第31号	比謝川遊歩道急傾斜地崩落防止対策工事(その1)請負工事について	原案可決 契約額 9,570万円
議案第32号	比謝川緑地広場進入路整備工事請負契約について	原案可決 契約額 7,590万円
議案第33号	財産の取得について(町内小中学校パソコン教室用パソコン120台他周辺機器を取得)	原案可決 取得価格 4,603万円
議案第34号	財産の取得について(町内小中学校パソコンネットワーク機器及びウイルス対策ソフト等を取得)	原案可決 取得価格 6,762万円
陳情第4号	沖縄県民の生活と国民皆保険制度を守るために国保制度改善を求める陳情書	採択
陳情第10号	介護保険利用料原則2割負担化、ケアプラン有料化などの負担増計画の中止、介護従事者の待遇改善など、介護保険制度の抜本改善を求める陳情書	採択
陳情第18号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情	採択
陳情第19号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める陳情	採択
発議第43号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	原案可決
発議第44号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	原案可決
質問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	亀谷美佐子氏を適任と答申

## 第30回 臨時会

議案番号	件名	結果
議案第9号	令和元年度比謝川大橋耐震補強工事請負契約について	原案可決 契約額 1億6,940万円
議案第10号	西浜区学習等供用施設建替工事(建築)請負契約について	原案可決 契約額 2億6,675万円
議案第11号	嘉手納町防災行政無線デジタル化工事請負契約について	原案可決 契約額 1億3,420万円

# 基地関連意見書・抗議・決議を全会一致で可決!!



7月30日 田仲利則沖縄防衛局長へ要請

7.30

## CV-22オスプレイの飛来に抗議

令和元年7月22日、米軍横田基地配備のCV-22オスプレイが嘉手納基地に飛来した。住民からはさらなる騒音激化のみならず墜落等の重大事故を懸念する声が高まっている。

本町議会は、CV-22オスプレイの飛来に抗議するとともに、①嘉手納基地へのCV-22オスプレイの飛来を中止すること。②CV-22オスプレイの県内訓練場使用計画を撤回することを強く要求した。

10.28 MC-130 特殊作戦機からの部品落下事故及び・嘉手納基地から発生する騒音被害の増要請した。

令和元年10月18日午前5時頃、嘉手納基地に着陸したMC-130特殊作戦機から部品が欠損して

徹底した改善を図るように、①事故原因を徹底究明し、実効性ある再発防止策を講ずること。②安全性が確保されるまでCH-53Eヘリコプターの飛行を一切中止すること。③CH-53Eヘリコプターの嘉手納飛行場への飛来、住民居住地上空での飛行訓練を禁止すること。④通報体制を厳格に遵守し、事故に関する正確かつ迅速な情報提供を行うことを関係機関へ要請した。

## 常態化する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に抗議

令和元年10月29日午後6時30分頃から7時30分頃、本町や沖縄県、

9.11

## 米軍CH-53Eヘリコプターの窓落下事故に抗議

令和元年8月27日午後5時半頃、普天間飛行場所属のCH-53Eヘリコプターが沖縄本島東海岸沖を飛行中にプラスチック製の窓を落下させる事故が発生した。米軍機の部品落下事故は復帰後から今日に至るまで枚挙にいとまがなく、米軍の安全管理体制の欠如に憤りを禁じ得ない。

また、10月に入り、F-35B戦闘機・FA-18戦闘攻撃機等の外来機が飛来し過密状態のまま訓練が行われた。基地内では即応訓練も実施され、昼夜を問わず騒音、サイレン音や拡声器放送が基地周辺地域に鳴り響くなど、町民の受忍限度をはるかに超えており、①すべての航空機の整備点検、安全管理を徹底すること。②事故原因を徹底究明し、結果を速やかに公表すること。③すべての航空機の住民居住地上空での飛行訓練を禁止すること。④すべての外来機の嘉手納基地への飛来を中止すること。

いる事が飛行後の点検で発覚したにもかかわらず、町に対し詳報があつたのは1週間後の10月25日です、住民を巻き込む大惨事につながりかねず、町民に与えた不安は計り知れない。

また、10月に入り、F-35B戦闘機・FA-18戦闘攻撃機等の外来機が飛来し過密状態のまま訓練が行われた。基地内では即応訓練も実施され、昼夜を問わず騒音、サイレン音や拡声器放送が基地周辺地域に鳴り響くなど、町民の受忍限度をはるかに超えており、①すべての航空機の整備点検、安全管理を徹底すること。②事故原因を徹底究明し、結果を速やかに公表すること。③すべての航空機の住民居住地上空での飛行訓練を禁止すること。④すべての外来機の嘉手納基地への飛来を中止すること。

日本政府の中止要請を押し切り、米軍は今年4度目のパラシュート降下訓練を強行した。訓練は悪天候を理由とする例外事由に当たらず、明らかにSACO合意違反であり、訓練の常態化が危惧される。日本政府は米軍に対し同問題解決に向けて毅然とした態度で臨み、嚴重に抗議するよう求めた。

また、米軍パラシュート降下訓練を実施しないことと、訓練の例外的措置を撤廃することを米軍側や関係機関に強く要請した。

パラシュート降下訓練を行うため航空機に乗り込む米軍兵士  
(令和元年10月29日撮影)

# 平成30年度 政務活動費収支報告

## 【政務活動費とは】

地方自治法及び嘉手納町議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員が町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動等に要する経費に対して交付されるものです。

**【交付額】** 年間18万円（1万5千円×12月）

**【返還】** 交付総額一支出額に残余がある場合、残額は町へ返還となります。

※交付総額より支出が多い場合は自己負担となります。

調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情等活動費
議員が行う町の事務・地方行政に関する調査研究(視察を含む)及び調査委託に要する経費	1. 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む)に要する経費 2. 団体等が開催する研修会(視察を含む)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会議費	資料作成費	資料購入費	事務費
1. 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2. 団体等が開催する意見交換会など各種会議への議員の参加に要する経費	議員が行う活動に必要な資料を作成するに要する経費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費

議員名	交付額計	支出計							支 出 計	残 高
		調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費		
仲村一	180,000		5,000					14,264		19,264 160,736
志喜屋孝也	180,000		84,760					9,024		93,784 86,216
花城勝男	180,000	174,540						9,024		183,564 0
宇榮原京一	180,000	159,130						13,940	2,074	175,144 4,856
古謝友義	180,000	147,126	7,678					11,024	3,693	169,523 10,477
安森盛雄	180,000	77,158	80,320					11,590	11,803	180,871 0
奥間政秀	180,000		178,510					2,000		180,510 0
新垣貴人	180,000	162,980	10,378					2,000		175,358 4,642
照屋唯和男	180,000	156,630						3,000	1,004	160,634 19,366
仲村渠兼栄	180,000	79,760	5,000					63,236		147,996 32,004
石嶺邦雄	180,000	64,800	49,594					11,024		125,418 54,582
當山均	180,000	69,220	81,690					4,650		155,560 24,440
田崎博美	180,000						65,000	104,306		169,306 10,694
田仲康榮	180,000							36,699		36,699 143,301
知念隆	180,000	149,008	7,732					5,537		162,277 17,723
徳里直樹	180,000	173,800						26,388		200,188 0
	<b>2,880,000</b>	<b>1,414,15</b>	<b>510,662</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>65,000</b>	<b>327,706</b>	<b>18,574</b>	<b>2,336,096</b> <b>569,037</b>

# 行政を問う

題字：仲村渠 兼 栄 議員

<b>安森盛雄</b>	幼保無償化を問う	P 8
<b>花城勝男</b>	児童虐待問題を問う	P 9
<b>古謝友義</b>	比謝川及び周辺について問う	P 10
<b>新垣貴人</b>	幼保無償化制度の充実を	P 11
<b>照屋唯和男</b>	食料品加工センターを問う	P 12
<b>志喜屋孝也</b>	各行政区の防災訓練を問う	P 13
<b>仲村渠兼栄</b>	クラウドファンディング活用で買い物難民対策を	P 14
<b>知念隆</b>	幼児教育・保育無償化後の給食費を問う	P 15
<b>宇榮原京一</b>	学校給食の現状を問う	P 16
<b>仲村一</b>	墓事情を問う	P 17
<b>田仲康榮</b>	CV-22配備反対町民大会を	P 18
<b>石嶺邦雄</b>	観光行政の進捗状況は	P 19
<b>田崎博美</b>	認知症事故賠償を問う	P 20
<b>徳里直樹</b>	成年後見制度利用促進は	P 21

14人の議員が一般質問



(質問順)



安森 盛雄

問 担当課の職員とは経験をつん

答 幼児教育・保育の無償化が始まるが、現況及び準備について伺う。

答 住民に向けた制度の広報周知例規の整備、関係施設への説明など、10月開始に向けて各担当課、子ども家庭課並びに教育指導課にて準備を進めている。

問 仕組みについての周知方法は。

答 8月号の広報誌に掲載した。また、認可施設に在籍している児童の保護者に対しては、各施設に依頼し個別通知により、説明資料の配布を行った。9月の利用料見直しの通知に説明文も一緒に同封した。

9月号の広報誌にも掲載しさらに分かり易い説明資料、チラシとしてA4の両面刷りも織り込んだ。

## 幼保無償化を問う

問 幼児教育・保育の無償化が始まるが、現況及び準備について伺う。

答 住民に向けた制度の広報周知例規の整備、関係施設への説明など、10月開始に向けて各担当課、子ども家庭課並びに教育指導課にて準備を進めている。

問 仕組みについての周知方法は。

答 8月号の広報誌に掲載した。また、認可施設に在籍している児童の保護者に対しては、各施設に依頼し個別通知により、説明資料の配布を行った。9月の利用料見直しの通知に説明文も一緒に同封した。

9月号の広報誌にも掲載しさらに分かり易い説明資料、チラシとしてA4の両面刷りも織り込んだ。

答 今年配属の保育担当の4月採用の職員である。用職員に説明をさせるというのはそれでいいのか。

答 施設に出向いたのは確かに新採用職員であるが、他の職員も新制度の読みをして新採用職員にアドバイス等を行なっている。

問 その他の施設等へも新採用職員一人で出向いたのか。

答 その通り。

問 新しい制度改革が始まる中、説明等を新採用職員だけにいかせることは責任が重いのではないかと思う。

答 職員を育てるという観点からも上司が同伴するのが当然だと思うが、町長・副町長の見解は。

答 規制表示等は基本的に公安委員会で設置していく。今後、嘉手納署と協議していくかと考える。

問 今回の保育の制度改革は理解しがたい部分があるのに、新採用職員に説明をさせるというの

だ職員か。

## スクールゾーンの安全性を問う

### 投票率の低下の原因は

問 町内学校周辺では、スピードを出す車が結構いる。標識やゾーンを大きく目立つように書くなど対策をして頂きたいが。

答 規制表示等は基本的に公安委員会で設置していく。今後、嘉手納署と協議していくかと考える。

問 令和元年初の参議院選挙投票率の低下の原因について、町としての見解は。

答 身近に感じにくい国政選挙であることや、比例代表制度のわざりにくさ等に起因する選挙への関心の低さが根底にあるのではないかと考える。

問 今後、投票率を上げるための施策は。また、現在の投票所を増加することは検討できないか。

答 今後、どのような施策が有効か、調査研究を進めていきたい。投票所の増設は考えていない。

問 今後の提案として、子ども議会等を通して検討できなか

また、出前講座、女性会・青年会・各種団体などの模擬議会を実施するのも一つの手立てではないかと考えるが見解は。



郵便局通り

答 啓発や意識付けには有効かと思うが、学校の都合や主催が議会側になるのか、学校側になるのか把握していないので今後、検討または調整をできればと考える。

問 今後の提案として、子ども議会等を通して検討できなか

また、出前講座、女性会・青年会・各種団体などの模擬議会を実施するのも一つの手立てではないかと考えるが見解は。

答 啓発や意識付けには有効かと思うが、学校の都合や主催が議会側になるのか、学校側になるのか把握していないので今後、検討または調整をできればと考える。



花城 勝男

**児童虐待問題を問う**

児童虐待の過去3年間の虐待相談件数と内容は。

答 平成28年度相談件数は9件、平成29年度は7件、平成30年度は11件で、相談内訳は身体的虐待10件、育児放棄8件、心理的虐待9件。相談件数は増加傾向にある。

行政では児童虐待の早期発見や防止策の対応は。

答 子どもに接する機会の多い学校や保育施設、また地域の皆様から情報提供が重要となる。虐待に対し、どこに相談すべき内容等を知つてもらうためのリーフレットを配付し、虐待防止の早期発見の糸口としている」と答えていた。

県としては、虐待防止の体制強化策として、子ども家庭総合支援拠点を2022年までに、

**高齢者虐待を問う**

高齢者虐待の過去3年間の虐待相談件数と内容及び課題は。

答 平成29年度2件、平成30年度3件。身体的虐待4件、経済的虐待の1件。

虐待事例5件のうち3件は精神的疾患のある子どもからの虐待であり、虐待者となつた子どもの支援を含めた対応が一つの課題。また高齢化の進展に伴い増加が見込まれている認知症高齢者への虐待への対応も課題と考えている。

高齢者防止ハンドブックの作

**定住促進事業を問う**

設置について必要な例規、要綱などの整備や専門性を有する人員の配置など調整し、早目の設置に向けて努力検討している。子ども家庭支援員を常時2名以上設置する必要がある。主な職務は、実情の把握、相談対応、総合調整、調査支援及び指導、関係機関との連携など、子ども家庭支援全般に係る業務である。

新築取得補助事業が32棟64戸。除却補助金が9件、定住促進奨励金が7件。評価としては、ご利用の皆様からは大変好評を得ており、また町内企業からも積極的な利用の話がある。人口増については26世帯、58人の転入。また22世帯68人の町内移動となっており、合わせて48世帯、158人の移動。純粋な人口増は26人の移動。純粋な人口増は58人。126人の町外流出を防げたことは大きな成果。

結婚新生活支援事業を実施する予定は。対象条件として夫婦合わせて所得が340万円未満、夫婦ともに34歳以下で、助成額は新居の住居費及び新居への引越し費用分として、上限30万円助成ができないか。

新婚世帯移住定住促進事業として、町外から嘉手納へ1年以上居住する意志のある方へ、対象条件が夫婦合わせて所得が3



全市町村に設置するとあるが、嘉手納町はいつ設置するのか。支援員の体制は。支援員の業務内容は。

設置について必要な例規、要綱などの整備や専門性を有する人員の配置など調整し、早目の設置に向けて努力検討している。子ども家庭支援員を常時2名以上設置する必要がある。主な職務は、実情の把握、相談対応、総合調整、調査支援及び指導、関係機関との連携など、子ども家庭支援全般に係る業務である。

新築取得補助事業が32棟64戸。除却補助金が9件、定住促進奨励金が7件。評価としては、ご利用の皆様からは大変好評を得ており、また町内企業からも積極的な利用の話がある。人口増については26世帯、58人の転入。また22世帯68人の町内移動となっており、合わせて48世帯、158人の移動。純粋な人口増は26人の移動。純粋な人口増は58人。126人の町外流出を防げたことは大きな成果。

議員ご提案の事業については、他県、他市町村での実施状況や成果などを調査研究し、実施可能であるか精査していきたいと答えていた。

成と全世帯配布を提案。これから全世帯に向けて配布できるように検討したい。

嘉手納在住の子育て世代定住促進奨励金事業として、対象条件が夫婦合わせて所得が400万円未満、夫婦ともに40歳以下で、①子育て世代とその親が同一の家屋に1年以上同居する条件で20万円助成ができるいか。

嘉手納へ1年以上居住する条件で10万円助成ができないか。

嘉手納在住者が初めての婚姻届に対して、結婚祝い金として3万円の助成ができるいか。

議員ご提案の事業については、他県、他市町村での実施状況や成果などを調査研究し、実施可能であるか精査していきたいと答えていた。



古謝 友義

## 比謝川及び

### 周辺について問う

問 比謝川の現状を確認し、把握

答 屋良城跡公園付近で土砂が堆積しているのを確認している。

問 河川管理者である県に対し、現状回復の要請はしているか。

答 比謝橋上流の土砂浚渫工事の早期実施を要望している。

問 流木が、漁民の財産である船を傷つけている。対策は考えているか。

答 流木に対する有効な対策はとれていないが、漁業組合と連携して対策を図っていく。

問 流木は、カヤック等にぶつかると重大な事故につながる恐れがある。早急な解決策が必要だと思うが、見解を問う。

答 漁業組合、カヤック業者と連携して対策を図る。

問 比謝川堰撤去の今後のスケジ



流木への対策を

問 比謝川緑地広場へ続く道路拡張工事と、建物完成までのスケジュールは。

答 進入路の拡幅工事については、今年度発注予定。令和2年度に建築工事、令和3年度に外構工事、令和4年度供用開始予定。

## 町内の 住環境について問う

問 町内における、歩道の草刈り作業はどれ位の頻度で行っているか。

答 年1回から4回で行っている。

問 県道74号線の除草について、どのような形で要請しているか。

答 中部土木事務所へ優先的に行うよう要請している。

問 町内の生活道路（車が通行できない道）は約50年前に整備されて以来、手付かずの状態だと思うが、手直しはできないか。

答 自治会を通して、整備を行っている。

問 町内の隅々において、道路パトロールコースに入っているか。

答 毎月パトロールを実施している。



交差点の改善を早急にはかれ

ユールについて分かる範囲で答弁を求める。

答 令和元年より長田川に取水堰を設置し、令和2年度から令和3年度にかけて比謝川下流堰を撤去する予定。

問 観光客の増加に伴い現状ではトイレの数が絶対的に不足している。漁港内に、新たなトイレはつくれないか。

答 既存トイレを改修してトイレはつくれないか。  
不足を解消したい。

答 補助金を活用して整備していくたい。

問 街灯、防犯灯が機能していない箇所について、今後検討する。

答 樹木で照明がさえぎられているか。

問 町道48号線と水釜・大木線が交差する十字路の改善は町民から切実な要望がある。対策は考えているか。

答 交差点にカラーブラックアスファルトで対応できるか検討していく。

問 町道48号線と水釜・大木線が交差する十字路の改善は町民から切実な要望がある。対策は考えているか。

答 交差点にカラーブラックアスファルトで対応できるか検討していく。



新垣 貴人

## 幼保無償化制度の充実を

**問** 国は、少子化対策や子育て支援の一環として、児童教育・保育無償化を10月から行う。幼保無償化の財源は、10%に引き上げられる消費税分だ。利用料は無償になるが、給食費、行事費などの実費部分は無償にならず保護者の実費払いに切り替わる。

「無償化＝実費負担ゼロ」と思う保護者が多く、混乱することが懸念されているが本町の対応は。保育園の給食費や行事費等の町独自の補助は検討されたか。

**答** 主食費を町独自で、月額100円の補助を継続する。

**問** 幼稚園の給食費や行事費等、預かり保育料の町独自の補助は検討されたか。

**答** 条件を満たせば給食費の一部と副食費分が免除になる。

町独自の補助は、給食費の主食分の補助を予定。預かり保育も条件を満たせば無償になる。

## 交通安全対策の徹底を

**問** 平成26年6月にも同様の質問を行った。車を運転するドライバーも歩行者も、自転車も交通ルールを守ることで安全と秩序が保たれている。普段から通り慣れている道路だからという惰性によって、油断が生じた時が危険だ。

ドライバーの危機管理意識が大切だ。しかし、道路行政の担当課は町道の管理責任を担つていて、事故が起きた時に想定される最大限の交通安全対策を講じる行政上の責務がある。

本町における交通安全対策について、町道における交通事故の頻発、または危惧される危険箇所のマップは作成されているか。

**答** 計画的に実施できるよう努めたい。

**問** 小中学生の2人乗り自転車や信号無視をする乗り方の安全指導は。

**答** 嘉手納警察署の方が交通安全導は。



交通量が多く、事故が懸念されている町道48号線交差点

教室を実施し、交通安全ルールに関する指導を行っている。

を行った。全国18～79歳の2万5千人（沖縄県270人）を調査対象とし、金融リテラシーに関する問題の回答を求めた結果、全体の正答率は55.6%という結果だった。この結果は、「諸外国と比べると、金融リテラシーは低い」という実態が報告された。

また、沖縄県の正答率が全国最下位だったことが分かり、金融トラブル経験者や消費者ローン利用者の割合も全国上位で、学校で金融教育を行うべきと思う人の割合も高かつたとされている。本町において金融リテラシーの現状はどうなっているのか。

金融リテラシー調査の結果、沖縄県民の正答率が全国最下位と出ている。その結果を受け、本町の見解は。

本町の見解は。町民に対し、金融に関する学習の機会を実施する。

**答** 町民に対し、金融に関する学習の機会を実施する。

**問** 小中学校の児童生徒に対し学校等で行う金融教育への取り組みは。

**答** 消費者教育という名称で、生活習慣や態度、価値観から技術的な知識まで幅広い内容となつてきている。



照屋 唯和男

### 食料品加工センターを問う

問 施設が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により整備された施設であるため、用途変更には防衛局の承認が必要なこと、

また、用途変更に伴い、補助金返還の可能性があるとのことだが、実際に防衛局への交渉等は行われたか。

答 去る6月に沖縄防衛局にて食料品加工センターの財産処分、用途変更についての協議を行つた。利用開始から10年以上経過しているため、財産処分、用途変更は可能。返還金は発生しないとの見解であつた。

問 食料品加工センターを利用している団体への配慮が必要と言われているが、中央公民館の調理場では対応できないか。

答 中央公民館内の調理場には設置されていない調理器具を使用する機会が多いとのことで、中

央公民館調理場のみでの対応は難しいと考えている。

問 年間を通しての施設維持管理費と使用料収入、稼働率を問題視している部分もあつたが現状で妥当との判断なのか。

答 平成30年度の使用団体数は、延べ3件で最少。現在の利用状況に関し妥当であるとの判断は難しい。有効な利用方法、活用方法が判断された際には、財産処分、用途変更について検討。

### 密集市街地区整備 改善事業の進捗状況は

問 現段階で要望に沿った事業进展となつてているか。権利者の理解と同意状況は。

答 まちづくり協議会と一体となって要望に沿つた事業を展開。引き続き本事業の必要性を丁寧に関係権利者へ説明を行い、合意形成を図るよう進める考え。

### 葬斎場の改善を

問 一般参列の際、建物入口に向かって左手は真冬や台風のときに影響を受ける。冷たい風や雨が降りかかる。風避け・雨避けを設置できないか。

答 可動式の風避けタイプで、夏場には開放することで暑さの対

策が可能。また、冬場であれば北風を防ぐことができる上下ワイヤー式で収納可能なビニールカーテンの設置工事を9月中に実施予定。現在準備中。

### 公園砂場の環境問題について

問 町内の公園で子どもたちが遊び場所として砂場が設置されている公園は何か所あるか。

答 屋良第二公園、屋良ふれあいパーク、ちびっこ広場の3か所。

問 砂場のメリット、デメリットは。衛生面や危険性等の調査確認はされているか。調査結果をどう受けているか。対応は。

答 砂場のメリットは、小さい子どもでも遊べる想像力、独創力、協調性の向上。デメリットは、衛生面、汚れる、動物の糞、たばこの吸い殻などが挙げられる。年1回、異物混入、水はけ、砂の量、固さなどを調査、砂場の砂の補充、撤去、掃除等を行う。

問 砂場の必要性についてどういふふうに考えているか。

答 デメリットの安全面、衛生面を考え、すべり台のクッション材等をゴムチップ剤に変更。大きな砂場は芝生などに取り替えが可能か考えていくたい。



屋良ふれあいパーク砂場

### 嘉手納レスリングクラブの練習場を確保できないか

問 これまでのクラブの実績等をどう見ていくか。今後さらに発展させていくためにも固定した

練習場の確保が必要。これまでの対応、また、今後の計画見込みは。

答 例年県内で優秀な成績を収め、全国少年少女レスリング選手権、全国中学選抜レスリング選手権に派遣されるなど、活躍している。

練習場に適した広さで、専用として使用できる施設がないか。これまでも検討してきたが、既存の施設で専用として使用できる施設がなく、現在に至っている。

これまでも検討してきたが、既存の施設で専用として使用できる施設がなく、現在に至っている。今後、兼久海浜公園リニューアル基本計画において、兼久体育館に武道場の機能を追加して整備計画の中で活用について協議したい。



志喜屋 孝也

**問 各行政区の防災訓練を問う**

**答** 各行政区の防災訓練の実施、また訓練内容は。

**答** 全町域を対象とした避難訓練を毎年一回行つて、中央区自治会が参加、津波発生のエリアメールを受け、避難所への避難、備蓄食糧の配付、簡易トイレやプライバシー保護の仕切り板等の組み立てを実施。

**問 人口に合わせた備蓄食品数は。**

**答** 防災計画により人口の20分の1の3食の3日分、6200食以上確保、9000食の備蓄食糧を確保している。

**問 備蓄倉庫の数と、企業の空き倉庫、空きスペースの活用は。**

**答** 現在18か所へ23台の倉庫を設置。避難施設の空きスペースを利用して足りている。

**問 環境省の地域防災、減災と低炭素化を同時に実現する自立、分散型エネルギー設備等導入推進**

**問 内閣府の観光防災強化支援事業の町の要望は。**

**答** 避難所となるコミュニティセンター5か所へのWi-Fi設置、避難誘導看板の設置、食糧等の保管が可能な断熱防災備蓄倉庫1か所の設置を計画。

**ヘルプマークを問う**

**問 ヘルプマークの認識は。**

**答** 義足や人工関節を使用している方、内部障害や発達障害、難病、妊娠初期の方などが外見からわからなくても周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくすることを目的に東京都が作成した。

**問 町での配布予定は。配付されているか。**

**答** 平成30年に沖縄県より配付開始の依頼を受け、希望者への配付と周知の依頼通知があり、本町でも平成30年11月より申請受け配付。現在3件の配付。



ヘルプマークの周知を図れ

**問 障害者手帳を持つても、持つていなくても配付は可能か。**

**答** 障害者手帳の有無に関係なく申請しての配付が可能。

**問 ヘルプマークの周知普及は。**

**答** 周知活動は庁舎内へのポスター掲示等。

**問 相談支援者、社会福祉協議会等への周知は。**

**答** これまでも社会福祉協議会相談事業所にも電話、チラシ等で周知活動行つてている。

**問 県企業局は浄水場で殺菌のための塩素を注入している。濃度1リットルあたり、1ミリグラム以下の目標値を設定しているが、本町の水質検査状況と場所並びに回数は。**

**答** 水道法第20条に基づく消毒の残留効果に関する検査は1日1回町内の6か所で行つていて、その結果、残留塩素濃度は平均0・3~0・7ミリグラムの範囲となつてている。

**問 残留塩素濃度の公表は。**

**答** 窓口での公表、閲覧及びホームページでの掲載を実施。



仲村渠 兼 栄



### クラウドファンディング活用で 買い物難民対策を

- 問 町のクラウドファンディングの方針は。
- 答 今後の検討課題になる。
- 問 町の買い物弱者の対策は。
- 答 メリットは事業開始前から支援でき宣伝効果がある。デメリットは・資金調達ができないと事業ができない。
- 問 地域交流センター建設予定は。
- 答 検討していない。
- 問 同売店・食堂等の誘致は可能か。
- 答 検討していない。
- 問 「クラウドファンディング」

のメリット、デメリットは。  
過去3年の「広報かでな」に掲載された、スポーツ少年団の個人・団体は。

### 県代表選手・団体の 年間表彰を問う

過去3年の「広報かでな」に掲載された、スポーツ少年団の個人・団体は。

理由は。  
敬老の日以前に支給する予定は。  
多くの方へ支給できる判断。



### 東京五輪の広報啓蒙活動を

- 問 開幕までのカウントダウンの表示板の設置は。
- 答 テレビモニターを活用し、100・150・200日前を検討する。
- 問 役場エントランスで1964 東京五輪の写真展の予定は。
- 答 検討する。
- 問 東京2020五輪の進捗状況は。
- 答 特別イベントはないが、パラ五輪は企画を予定する。
- 問 町の交通難民の対策は。
- 答 中央区で実施の移動販売の拡充の対策を行う。
- 問 地域交流センター建設予定は。
- 答 タクシー利用助成事業で対応。
- 問 同売店・食堂等の誘致は可能か。
- 答 検討していない。
- 問 地域交流センター建設予定は。
- 答 検討していない。
- 問 「クラウドファンディング」

- は。  
過去3年の「広報かでな」に記載された個人・団体は。
- 問 経済、産業の個人・団体は。
- 答 個人3件。
- 問 文化、芸能活動の個人・団体は。
- 答 個人2件。
- 問 高校個人・団体名は。
- 答 個人1件。団体10件。
- 問 中学校部活動の個人・団体は。
- 答 個人56件。団体10件。
- 問 過去3年の「広報かでな」に掲載された、スポーツ少年団の個人・団体は。
- 答 個人1件。団体10件。
- 問 敬老の日以前に支給する予定は。
- 答 予定はない。

### 横断幕・ポール追加設置を

- 問 設置か所と設置年月は。
- 答 8か所。平成26年10月。
- 問 設置に関する基準は。
- 答 ない。
- 問 町の補助団体以外の掲揚は可能か(同窓会等)。
- 答 ない。
- 問 設置か所と設置年月は。
- 答 8か所。平成26年10月。
- 問 町の補助団体以外の掲揚は可能か(同窓会等)。
- 答 ない。
- 問 町有地で検討したい。
- 答 使用許可基準で定めている。
- 問 屋良地区ローソン向かいの嘉手納基地側へ新規に増設ができるのか。
- 答 ない。
- 問 沖銀隣の国道沿いの緑地帯はどうか。
- 答 町有地で検討する。
- 問 ケンタッキー前嘉手納基地側は。
- 答 関係課と検討する。
- 問 県営団地入口緑地帯はどうか。
- 答 関係課と検討する。
- 問 対象者が9月1日時点である理由は。



## 知 隆

### 第三保育所の 交通安全対策を図れ

**問** 第三保育所前の町道は朝夕、交通量が多く園児を送迎する際、複数の子どもを抱える保護者は車の乗り降りや道路を横断する場合、危険な状況が見受けられる。事故防止の観点から、保護者等より交通安全対策について要望はないか。

### 幼児教育・保育無償化後の 給食費を問う

**問** 今年10月から幼児教育・保育無償化が始まり、保護者の負担が軽くなる一方で私立の認可園においては給食費の徴収業務が発生するなど新たな課題も懸念されるが、保育無償化となる児の対象者数は。

**答** 幼稚園と保育所など合計で、515人となる。

**問** 給食費の徴収業務を行政で代行できないか。

**答** 地方自治法の観点から、行政が代行することはできないと国から指導を受けている。

**問** 認可園の給食費を完全無料化できないか。

**答** 低所得層で支援が必要な世帯には主食費を町独自の補助を実施することで完全無償化を実現している。



第三保育所の交通安全確保を

### 投票率向上に向けた 取り組みを問う

**答** 交通弱者と言われる高齢の方は都合の良い時間帯に同行される方と期日前投票を行っている方が多いので期日前投票の活用を促していきたい。

### 投票率向上に向けた 取り組みを問う

**問** 7月の参議院選挙の投票率は嘉手納町でも約51%と町民の半数しか投票していない。投票率の向上に向けた取り組みについて伺う。各行政区の投票率は。

**答** 行政区ごとの集計はないので投票区別の投票率になるが、東区・中央区で構成する第一投票区が48.74%、北区・南区で構成する第二投票区が52.55%、西区・西浜区で構成する第三投票区が52.48%となつてている。

**問** 期日前投票の場所をネーブルカデナにも設置できないか。



第一投票所の中央区コミュニティセンター

**答** 新たに期日前投票所を設けるには選挙管理システム用の臨時通信回線の確保やセキュリティ対策、人員の確保や経費の増加等、対応すべき問題が多いので現在、設置は考えていない。

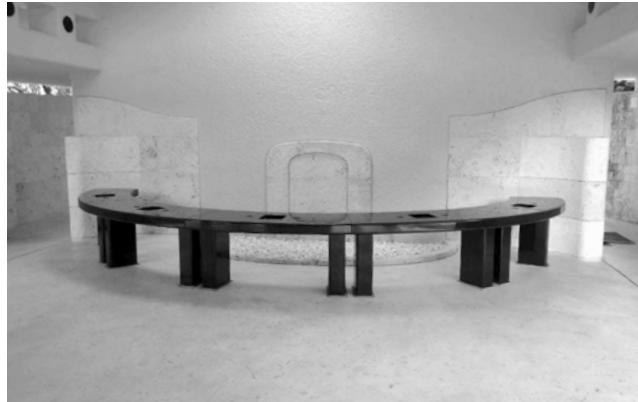
### 第一投票所である中央区自治会事務所は東区からは遠くて不便である。交通弱者のために投票日については中央区と東区を結ぶ巡回バスを運行させてはどうか。





仲村一

## 墓事情を問う



浦添市施設型共同墓

していることだが、今までに何件募集したのか。

答 今回合わせて36区画で2022年に14区画を予定している。

問 永代使用料約41万円、墓を建てるのに約400万円かかると聞いている。条件付きではあるが永年の使用料が3万という那覇・浦添・久米島に共同墓地があるが当局は把握しているか。

答 那覇へは視察を実施した。浦添については今年度中に視察を検討している。

問 葬斎場横の久遠堂に一般の方が納骨できるのか。

答 身寄りのない方々を納める場所で、通常の方は利用することはない。

問 嘉手納葬斎場は築何年、建替の予定は。

答 築31年目。建替予定は耐力度調査の結果を踏まえて検討していく。

問 嘉手納町に合葬式墓を設置する予定は。

答 那覇・浦添の使用頻度や市民の要望等の情報や嘉手納霊園応募者へアンケートを実施し、町民の意見を照らし合わせ望まれる形態を検討する。

問 霊園の18区画の一般公募の募集に何件の申し込みがあつたか。  
答 8月30日現在、110件の申し込み。  
問 平成26年に墓地整備基本計画において、今後10年で50基予定

## 旧製糖工場跡地の住所を問う

問 旧製糖工場跡地に562番地2、562番地3、562番地25の地域があり世帯数が多くわかりづらいとの声が多い。今後どのように考えているか。

答 水釜562番地は1筆の大きな土地に複数の住宅が立ち並び所在する建物がどこなのかわりにくく状態にあると認識しているが、既に居住者の住む地域となっており地元の合意形成が必要と考えている。

問 西浜の373番地や北区の312番地のように562番地2の何号のような表示にはできないか。

答 住所の表示が変わることで免許証の訂正や登記簿等の証書訂正などすでに居住されている方々が変更手続きを行っていく必要となることがあるため合意形成が必要と考える。

## 嘉手納ドームについて問う

問 嘉手納ドーム2階に筋トレルームがあるが、トイレと休憩室を増設して欲しいとの声がある。

答 増設の要望はあるが、トイレ・休憩室についての要望はない。

## 生徒の地域・町行事への参加を問う

答 去る旧盆に各区のエイサー隊が道ジュニー・エイサー祭りと盛大に行われた。これら地域や町の行事への生徒の参加に対する学校の方針は。

答 学校の方針としては、生徒の地域行事への参加は積極的に勧めている。しかし、部活動や学校の諸行事等が重なる時は優先順位を決めて対応するように指導している。

## 今年度の町陸上大会が9月8日行われる。中学校で試験がある

答 每年9月の第2日曜日と決まっている。その件に関してどのように考えているのか。どのような指導を行ったのか。

答 次年度からは学校と日程を調整のうえ町陸上大会前に期末テスト期間を設定し、多くの中学生が本大会へ参加できるよう促していきたい。



田仲 康榮

会については考えていない。



嘉手納基地で訓練をするCV-22 オスプレイ

## CV-22配備

### 反対町民大会を

**問** 米軍横田基地のCV-22オスプレイが7月・8月に嘉手納基地に飛来し、特殊作戦の訓練を実施している。嘉手納基地への飛来は5回目で常態化している。町議会や三連協の配備反対の声を無視した結果、日米両政府に厳しく抗議する。CV-22オスプレイ特殊作戦機は、事故率（死者、200万ドル以上の損害のAクラスで5・84件）も高い事故多発、爆音激増の欠陥機だ。同機の飛来は町民の命や暮らしを大きくおびやかす。

今こそ町民大会を開くべきだ。

**答** CV-22オスプレイは安全性の問題、基地被害の増大などへの大きな懸念がある。同機種の運用について一貫して反対の立場をとっている。日米の関係機関に対し申し入れている。町民大

## 要支援1・2の保険 はずしの影響、対応は

**問** 国は介護で2018年からの新総合事業の影響で要支援1・2の方を介護保険から外した。

その結果、利用者や窓口の自治体に負担が重くのしかかっている。本町で利用者や家族から不備などないか。影響、対応策を伺いたい。

**答** 現在、新総合事業移行前と同様の通所型、訪問型のサービスを設けている。高齢者に影響はない。

## 任用制度－ 非正規職員の地位向上を

**問** 会計年度任用制度については6月議会で制度導入への見解、概要等についてただした。今回

は、制度導入に向けた条例化な

## 中卒医療費無料を 「現物支給」に

### 「現物支給」に

**問** 子ども医療費の完全無料化への動きは、県内各市町村で広がりをみせている。本町も中学卒業まで「自動償還、自己負担なし」を指導している。近年「自動償還」から「現物支給」への制度切り替えの自治体がふえて

いる。本町でも「現物支給」に切り替える考えはないか。**①**どのくらいの財源が必要か。**②**いつ頃制度導入を考えているのか。

**答** 「現物支給」の場合の財源は30年度実績（4519万6千円）で現物支給を行っている自治体の伸び率8・2%をあててみると4890万2千円となり、370万6千円の増額となる。

「現物支給」の導入については、国・県の方針、町の財政、市町村の動向を確認し検討したい。

ど問題点の整理のため当局の対応を伺いたい。制度導入は、自治体の臨時・非常勤職員の身分の安定。地位向上を図るため制度の導入の明確化、安心・安全な職場環境の改善に結びつくものでなければならない。以下の点についてただしたい。**①**臨時・非常勤職員の待遇改善。財源確保は自治体で実施。**②**労働契約法などの法整備。**③**当該職員、労働組合への説明と合意。**④**給与は月給制度とし適正な月額に引き上げ。**⑤**再任用は勤務実績による非公募を基本。**⑥**期末手当の正規職員と同月数を支給など、諸手当の実施。

**答** 根本的に同一労働同一賃金の考え方で制度化。非常勤職員の待遇改善、地方公務員法に基づく導入で財源確保も地方公共団体が行うべきもの。非常勤職員の適正な任用・勤務条件を確保することが目的であり、現状に比べ非雇用者の不利益になる変更は行えないと認識。

給料は月額で支給想定。期末手当は常勤職員と同率で支給予定。非常勤職員の労働条件改善につながる。



石嶺 邦雄

のざ」で、ヒヤリングを行った。

観光協会は北中城村を含めた8市町村と沖縄コンベンションビューローで、今後は中城村、恩納村の観光協会へのヒヤリングを予定している。



## 大人のひきこもり問題を考える

### 考える

**問**ひきこもり調査はこれまでに行つてきたか。満40歳以上の調査も行つているか。

**答**嘉手納町では調査していないが、内閣府が調査した結果をもとに推計すると、15歳から39歳では57.4人、40歳から65歳では63.2人のひきこもりの方がいると考えられるが、内閣府の推計値なので、参考として捉えていただきたい。

**問**現在、年代別でひきこもり人數の把握はされているか。

**答**精神疾患などで、ひきこもつている方の相談、対応、支援を、福祉課で実施しているところであります。年代別の内訳は、50代1人、40代3人、10代1人の計5人。

**問**町内観光業の皆さんのはーず調査は行つたか。

**答**二ーズの把握として、観光振興に関するヒヤリングを平成29年度に実施している。

**問**現在のタイムスケジュールはどうなつているか。

**答**これまでの検討を踏まえ、2月ごろまでに外部委託で構成する設立検討委員会等を実施、4月に設立総会ができるよう、準備中である。

**問**県内視察、意見交換等をする予定とあつたが、どこを視察してきたか。

**答**視察に行つたのは「道の駅ぎ

**問**厚生労働省は平成30年度予算で生活困窮者自立支援の中の

「就労準備支援・ひきこもり支援の充実」費として、総額13億円を新たに計上しているが、本町での取り組みはあるか。

**答**就労準備支援として、利用者と就職体験先の開拓、マッチング、ひきこもり対策推進事業の強化事業として、ひきこもり地域支援センターの市町村バッックアップ機能等の強化などがうたわれている。町村が実施主体となる事業として、ひきこもりサポート事業があるが、本町ではひきこもりに関して、相談窓口の周知、相談の場合は専門機関と連携しての支援を実施している。今後はこれまで以上に専門支援センターとの連携を密にして対応していく。

**問**学生時代の不登校からそのまま「ひきこもり」になつていているか。

**答**福祉課で把握しておる方のうち、不登校から「ひきこもり」となつておる方は1人いる。

**問**特に疾病もなく、ひきこもつておる方の把握は難しく、内閣府が実施した調査から推計するところ、20代で28.1人、30代で23.4人、40代で24.2人、50代で22.9人、60代で16.1人と考えられている。





田崎 博美

## 認知症事故賠償を問う

**問** 「徘徊高齢者個人賠償責任保険事業」について、もし認知症の人が事故を起こして、多額の損害賠償請求を受けた場合、認知症の人を老々介護、認々介護する世帯は年金生活者で経済的な余裕がないことも多く、それを見越して老人福祉に心温かい支援をしている先進自治体の取り組みは、公的救済策の先例として自治体間の強い関心を集めている。

認知症の人を社会のリスクと見るのでなく暖かく接するためにも、自治体が被害救済の仕組み作りに乗り出す意義があると思うが、本町の公的救済の仕組み作りについて見解は。本町の認知症患者は何人で、在宅介護は何人いるか。

**答** 本町の認知症高齢者患者数に

ついて、認知症高齢者の日常生活自立判定基準ランク2以上の認知症高齢者は481人いる。481人中、在宅者が何人いるかは不明。

**問** 社会生活の基本となる認知機能が低下する疾患であり、超高齢時代特有の疾病である厳しい現実を直視しなければいけない。よって常に世帯数等を把握していなければいけないと考えるが、認知症の人を老々介護する世帯数は何件か。

**答** 町内での認知症の人を老々介護する世帯数は不明だが、2016年の国民生活基礎調査によると介護が必要な65歳以上の高齢者を65歳以上の人人が介護する老々介護の世帯の割合は54.7%であつた。



**問** 高齢者認知症対策事業として町でも「ゆるカフェ(認知症カフェ)」を開催しているが、その趣旨と効果は。

**答** 介護者の精神的、肉体的負担を軽減する観点からの支援や、介護者の生活と介護の両立を支援する取り組みを推進していくと言う趣旨のもと、認知症カフェを開催している。

認知症カフェの効果は認知症の人や、その家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場となっている。

## 災害級の猛暑対策

**問** 災害級の猛暑対策について、アスファルト道路やコンクリート建造物が太陽光の放射熱により熱帯夜が連日体温を上昇させ体調バランスを崩し、熱中症患者の発生率を増加させていている。

熱中症の現場と予防取り組みについて、小中学校における熱中症事故の予防に向けた取り組みは。

**答** 幼稚園を含む各小中学校に対して熱中症予防の取り組みとして、気温、湿度などの環境条件

に配慮した運動を実践することや、こまめに水分や塩分を補給し休憩をとること、健康管理を徹底することなどを周知し、指導している。今後とも万全の対策をとつていきたい。

**問** 中学校の部活動での熱中症対策はどのように行われているか。

**答** 中学校等における運動部活動の方針や熱中症予防運動方針に基づいて、その予防対策に努め生徒の心身の健康管理及び事故防止の徹底を図っている。

**問** 热中症の発生しやすい気象条件は、気温と温度、太陽光の放射熱の強さが関係している。嘉

手納基地から発生する騒音被害等を緩和するために住宅防音工事が施行され、なおかつ空調機器が設置されている。

暑さに対して抵抗力が弱い乳幼児や高齢者、傷病者等に対する救済策の取り組みについて伺う。

**答** 防衛省の補助規定の中に10年ルールを含め10年間の基準をクリアしないと補助申請できないのか、早急に調査等が必要ではないかと考える。



徳里直樹

## 成年後見制度利用促進は

**問**認知症、知的障害その他精神上の障害により財産管理や日常生活などに支障がある人たちを

社会全体で支えあうことが高齢社会における課題もあり、共生社会の実現に成年後見制度はこれらの人を支える重要な手段である。

市町村は権利擁護支援の地域連携ネットワーク、中核機関機能の段階的、計画的整備に向けて制度の利用促進施策の計画を定めるとされているが、成年後見制度利用促進法の概要是。

**答**基本的人権の尊重、地域の需要への適格な対応、必要な体制の整備。

**問**本町の取り組み及び課題は。

**答**現在、市町村計画の令和3年度策定に向け、平成30年度より取り組みを進めているところであります。平成30年度は県内先進地

区の取り組みを視察した。令和元年度は近隣町村と担当者レベルでの勉強会を予定している。具体的な計画策定への取り組みは次年度以降を予定。

成年後見制度利用促進基本計画で中核機関の設置が義務づけられているが、地域連携ネットワークづくりの拠点となる中核機関をどのように設立するのかが課題である。

**問**これまで成年後見開始申立て事務の取り組みは、また実績等

**答**家族等が申し立てできる方に關しては家族支援を行つてている。どうしても後見申し立てのできない家族の力がない方や独居の方に関しては、町長申立を実施している。

## 母子健康包括支援センター設置への取り組みは

**問**妊娠期から、出産・子育て期まで様々なニーズに対し、相談や支援など総合的に対応し、子どもとの貧困問題、児童虐待の早期発見や防止対策の強化を図り、切れ目ない支援を行う支援センターの設置が推進されているが、

**答**本町の取り組み及び課題は。

**答**現在、市町村計画の令和3年度策定に向け、平成30年度より取り組みを進めているところであります。平成30年度は県内先進地

要は。

**答**妊娠婦や乳幼児などに切れ目のない支援を提供し、育児不安や虐待の防止に寄与する。

**問**本町の取り組み及び課題は。

**答**現在子ども家庭課内には母子保健係、児童福祉係、保育支援係、子育て支援センターがある。

これらが連携し、妊娠婦や乳幼児などに対し切れ目のない支援ができるいると考えているが、母子健康包括支援関連事業の整理の必要性があることから、県内・近隣市町村の動向も踏まえつつ、設置に向け検討していくたい。

**問**まちづくりは「行政の透明性の確保」を基本に情報公開制度及び個人情報保護制度など住民参加を積極的に進めることが重要であり、公文書等の管理に関する法律の遵守、情報公開制度及び個人情報保護制度など住民のニーズに即対応できる「文書・情報の適正管理・活用システム」の構築が必要と考える。

**答**本町の現状と課題及びファイリングシステムの導入効果を伺う。

**答**本町は簿冊型方式で職員が自己的業務ごとに関連する文書を取りまとめ保管している。

ファイリングシステムの調査等行つてはいるが、導入に向けた検討には至っていない。

## ファイリングシステムの導入は

切れ目のない子育て支援を



情報の適正な管理を図れ

## 正副議長・正副委員長研修



令和元年8月7日北谷二ライセンターにおいて、正副議長・正副委員長研修会が行われた。  
「児童虐待防止対策について」と題して大城清剛氏（県青少年・子ども家庭課副参事）と後野哲彦氏（コザ児童相談所長）が講演した。本県での児童虐待相談件数は1100件で大幅に前年度より増加し、全国で最も高くなつたとの報告があった。その中でも、面前DVなど心理的虐待が最多で身体的虐待やネグレクト（養育放棄）、性的虐待も増加したとの講演であった。

## 沖縄県町村議会議員事務局職員研修会



令和元年10月11日に沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会が糸満市西崎にて行われた。  
第一部では町村議会の現状と課題と題して「町村議員の役割と議員報酬・定数のあり方」について明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏が講演した。第二部では沖縄県における外來性アリ類の対策体制とそれを支えるOKEON美ら森プロジェクトの題で沖縄科学技術大学院大学の吉村正志氏が講演し、参加した議員は、眞剣なまなざしで耳を傾けていた。

## 中部町村議会議員親善スポーツ交流会



令和元年10月24日ユンナンザパークゴルフ場にて中部町村議会議員親善スポーツ交流会が開催された。6町村事務局を含め60人が参加し、視察も兼ねスポーツを通しての交流を深めた。嘉手納町では仲村渠兼栄議員が14アンダーで見事優勝した。

## 題字紹介

**議会だより**



屋良小学校6年 屋 悠 喜  
が わ ゆ き

思つたよりきれいに書  
けてよかつた。  
議会の議がむずかし  
かつた。



## サークル紹介



代表者の渡具知勝美さんまで。(0990-6856-7563)

### ・サークル募集!!

サークル紹介コーナーへの掲載をご希望のサークルは、議会広報調査特別委員会までご連絡ください。

毎週月曜日、ロータリーープラザ2階の和室で午後7時30分から9時30分まで琉舞の稽古をしています。

## 「花笠隊」

●発行・嘉手納町議会

〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納588番地 TEL 098-956-3113 FAX 098-956-3100

基地被害苦情110番

TEL 0800-200-2665